様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　5月　27日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000572
事業所名	認知症対応型グループホームフジ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	感染症問題が続いていることもあり、ホームで行われた「子ども食堂」を中止にする等、地域の方との交流が困難になっている。定期的に開催していた「ちくちくハンド」については、感染症対策を検討しながら再開しており、現状で可能な交流を継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年度の会議は書面による開催となっているが、委員の方には、ホームからの働きかけを行いながら、関係が途切れないような取り組みを継続している。また、会議を通じたホームの運営状況の報告も継続している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市役所のスペースを活用した作品展の取り組みを行う等、感染症問題で交流が困難な状況下にあっても、市担当部署との交流を継続する取り組みが行われている。また、地域包括支援センターとも「ちくちくハンド」等を通じた交流の機会がつくられている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	現状、家族との交流が困難になっているが、窓越しで面会する機会をつくる等、現状で可能な対応が行われている。運営法人を通じた独自のアンケートを実施しており、家族からの要望等の把握につなげている。また、iPad等を活用した情報提供等も行われている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

運営推進会議については、令和２年５月、７月、１１月、令和３年１月、３月は書面にて実施している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										